

SDGsへの取り組み

日本義肢装具学会は「義肢装具等の技術の進展と知識の普及等に関する事業を行い、学術文化と障害者の福祉の向上に寄与すること」を目的に、教育・研修、学術的な活動を行うと共に、災害支援や国際協力等にもかわり、義肢装具・支援機器に関与する組織としてSDGsへも取り組んでいます。

3

すべての人に
健康と福祉を



あらゆる年齢の全ての人々の義肢装具・支援機器による健康的な暮らし、福祉を促進します。

4

質の高い教育を
みんなに



学会として専門領域の教育を行い、専門家の育成、生涯学習を構築します。

5

ジェンダー平等を
実現しよう



ダイバーシティ & インクルージョンを推進し、ジェンダー平等な組織づくりを目指します。

8

働きがいも
経済成長も



義肢装具分野の成長・発展に尽力し、専門領域の経済的成長と雇用に貢献します。

9

産業と技術革新の
基盤をつくらう



空間・生活インフラに対する専門性を活かし、利用者にとってより良い環境づくりに協力します。

10

人や国の不平等
をなくそう



障害にかかわらず、すべての人が能力を高め、社会的、経済的、政治的に取り残されないように協力します。

12

つくる責任
つかう責任



義肢装具を扱う責任、つくる責任を認識し、廃棄物削減・リサイクル・環境への配慮を行います。

義肢装具・支援機器にかかわる全ての人を幸せに！